

人違い



東郷 潤

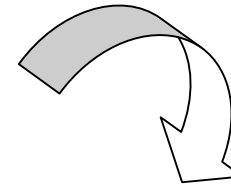
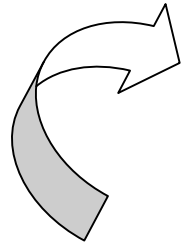
電車の駅のホームに、笑顔の人が立っています。



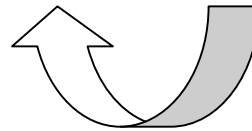
あの人が笑顔なのは、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っているからだって、想像しました。



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



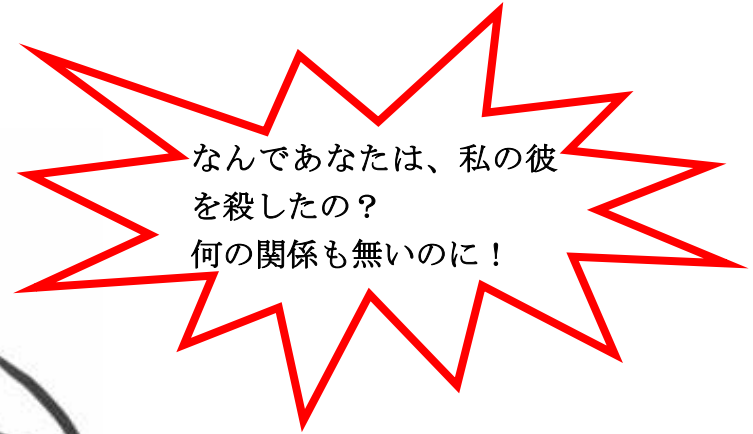
こ、殺して
やる!







ふん！ 俺を馬鹿にして笑ったからさ



なんであなたは、私の彼を殺したの？
何の関係も無いのに！



え？ 結婚式？

何を言ってるの？ 私と彼とは、もうすぐ結婚式だったのよ。結婚式の話をして、笑っていただけなのに

ぼ、僕を笑っていたんじゃないの？





ねえ、君。

人違いで、誰かをやっつけたって、

幸福になんかなれないよ！



君はどんな想像でも出来るんだから、

想像と現実とは、ちゃんと区別してくださいね！

あとがき ー絵本「人違い」

この絵本は、連作絵本「想像という現実」の2作目という位置づけで執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010